

日本共産党 ひめだ高宏ニッス

No.81

10.7.6

1日目には参院選の投票日です

昨年の衆院選は「政治を変えたい」との国民の願いが政権交代を実現させました。しかし政権についた途端に「野党から与党になったから」というヘンな理屈で次々に公約を投げ捨てた政権党!? アメリカにも財界・大企業にも国民の立場でモノが言える政党が伸びなければ政治の本身は変わりません。

参院選挙の投票方法は、

2回の投票です

①選挙区は候補者名で



2番めは

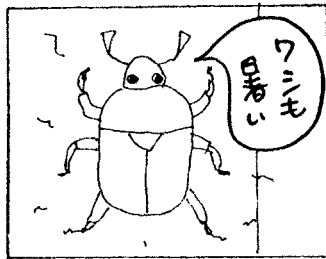
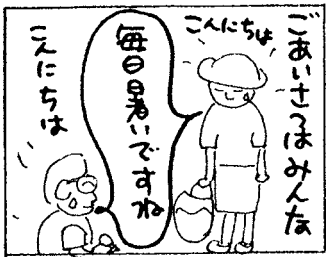
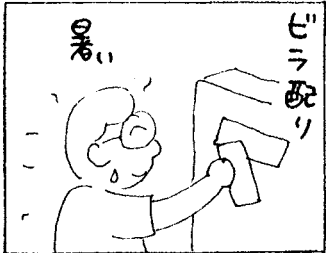
②比例代表は政党名で



比例代表は政党名でも候補者名でも投票できます。

フリーの人々

<624>



消費税増税許すなと

吉井英勝
衆院議員

7月4日(日)14時30分
から紀三井寺・地場産業セ
ンター5階ホールで参院選
挙区候補の個人演説会を開
きました。松坂みち子市議
候補、小野原典子市長候補
ふじい健太郎県議、吉井英
勝衆院議員、5人の弁士の
話はみなスッキリしていま
した。私、ひめだは司会。

吉井英勝衆院議員の話は、
今回の参院選の争点は消費
税10%増税(選挙区候補3
人の内2人が増税派)だが
22年前に竹下内閣が消費税
導入をしようとした時に大
阪で公明の参院議員が汚職
で辞職し、行われた定数ノ

こんには

議員の

ふじい健太郎

です。

(その269)

75才以上という年齢で
困い込み、加入者全員か
ら保険料を徴収し、受け
られる医療も「いざ死
ぬのだから」とお粗末な
世界に例のない自・公が
つくった「後期高齢者医
療」。「姥捨て山」だ、
と国民の大きな怒りが全
国に広がりました。

当時の野党はこぞって
即廃止を訴え、野党が多
数の参議院では廃止法案
が可決、昨年の衆議院選
挙後の国会で民主党は廃
止法案を出すのかと思え

の参院選挙で当選したのは、
「消費税導入反対」を掲げ
ました。

た吉井英勝さんだったとの
こと。そういえば、私、ひ
めだもその参院選挙の「こ
まき」に行きました。

ば「4年後に先送りしま
す」と態度を豹変させま
した。現在、新たな高
齢者医療制度の審議中
ですが、その方向性が見えて
きました。

65才以上でサラリーマ
ンやその家族は健康保険
に、それ以外の人は国保
に加入し、財政と運営は
都道府県単位での別建て
にするというものです。
これでは75才から65才
に「姥捨て山」の入山年
齢を引き下げただけでは
ないが、批判の音が広が
りつつあります。



ふじい健太郎
県会議員

大企業応援からくらし応援へ

後期高齢者 差別医療はすぐやめる

お年寄りを「うばすて山」においやる後期高齢者医療制度は、ただちに廃止します。政府は、「入山年齢」を65歳に引き下げの方針を検討していますが、とんでもありません。

派遣法 「抜け穴」残さない抜本改正を

前国会に政府が提出した「抜け穴」容認法ではなく、「使いすて労働」を本気で根絶する抜本改正を実現します。「雇用は正社員があたり前」の社会をつくりま

下請け いじめやめさせ、公正な取引のルールを

「単価たたき」「発注中止・変更」などの大企業の横暴をなくします。町工場をまもる緊急の直接支援をおこないます。

医療費 子ども・高齢者を無料に

病院の窓口負担の引き下げをはかりま

障害者 自立支援法をキッパリ廃止

応益負担を廃止し、福祉・医療費の無料化へ。総合的な障害者福祉法をつくりま

農業 輸入自由化ストップ、価格保障の充実

日米FTA、日豪EPAなど輸入自由化をストップ。再生産可能な価格保障・所得補償で農家をささえます。

こんにちは 日本共産党



菅首相が持ち出した消費税の増税は、国民の猛反発を受けています。菅首相は、ギリシヤのようになると脅したり、軽減策をとるとごまかしたり、

増税しても景気は悪くならないとウソを言ったり、な

役立ちません。日本共産党は消費税増税に反対し、福祉や暮らしの財源は5兆円にのぼる軍事費などのムダの削減と大企業・大資産家への行きすぎた減税を改めること、大企業の貯め込

漂流

消費税増税を国民に求めるためには、まず国会議員が身を削るべきだ。などと言い、議員の定数削減を主張する議員がいます。大事な法案なのに、口々に時間もかけずに、口々に審議せず、数をたよりに強行採決を繰り返す。センセイ達には、自らに与えられた議席の重みを受け取ることができず、自らをムダ使いと思っ

街再生の応援歌「シャッター通り」

6月25日(金)演劇鑑賞会6月例会「シャッター通り商店街」青年劇場公演を見ました。関東の町「すおらん通り商店街」。郊外の大形店に客を奪われ店舗が半減、シャッター通りとな

短歌 勝田 鉄也

どうしたのしんどのいのとふ人ありて
夕々に聞く労りの声
一日の生業終えて休む時
皆そ水ぞ水に幸せを持つ